

異物の摂取について

<原因>

誤嚥・誤食：遊んで唾えていたり、いたずらしていて誤って飲み込んでしまう
他に取りられまいとして無理に飲み込んでしまう
おやつやガム製品、おもちゃの丸呑み

盗食：自分のフードやおやつを食べてしまう

一時的な大量摂取

食事の残りや保存したもの、フライパンや鍋の中のもの

三角コーナーや排水口、ゴミ箱

拾い食い

欲求不満・運動不足・ストレス・スキンシップ不足

疾患：胃腸疾患、糖尿病、甲状腺機能亢進症、栄養不良、消化管寄生虫、脳症

認知症

食欲亢進・栄養不良

問題行動：異嗜；草や石・砂を食べる、床を舐める、

舐性・自傷、グルーミング過多

破壊行動；ペットシート、新聞紙、ダンボール、自身の被毛、飼い主さんの毛髪

執着・甘え；飼い主さんの臭いのついたもの 靴、スリッパ、靴下、生理用品

しつけの失敗

<異物の種類>

紙・ダンボール・新聞紙・ペットシート・ビニール・ティッシュペーパー

じゅうたん・布団・毛布・タオル

木材・柱

ひも・糸

金属製品 ネジ・クリップ・ピアス・指輪・針・釣り針

プラスチック用品・ボタン・ゴム手袋

医薬品・化学薬品・洗剤・殺虫剤・殺鼠剤・防虫剤・乾燥剤・化粧品・芳香剤

電池

自分の被毛・家族の毛髪

食物・食べ残し・ゴミ箱中のゴミ

特に串・たこ糸・サンラップ・アルミホイル

ひも・糸・輪ゴム

おもちゃ

フードを袋ごと、あるいは大量摂取

<もし摂取してしまった場合>

いつ摂取したか

何を摂取したか

どのくらい摂取したか

排泄物（唾液や吐物、排尿、排便など）中にどの位含まれるか

症状 流涎、神経症状、意識障害、傾眠、異常行動

嘔気、嘔吐、吐血、頻回尿、異常尿、軟便、下痢、しぶり、血便

痛み（口、眼、鼻、腹部、外陰部、肛門など）

元気減退・廃絶、食欲減退・廃絶、飲水量増加

不用意に水や塩水を与えないこと

異物の種類によっては水分により化学変化を起こしたり、吸収が早まることもあります。

異物の種類によっては、催吐してはいけない場合もあります。

効果がないことが実証されています。

場合によっては、吐根シロップ[®]や過酸化水素水（催吐作用）、牛乳や卵（強酸・強アルカリ・石油性物質に対する保護作用）を状況によって使用します。

口や鼻、眼の中に異物が残っていないか確認すること

症状の有無や容態の把握

危険性

中毒・化学反応・腐食

腐敗・食中毒

細菌性疾患

物理的刺激・損傷

粘膜刺激性

機能障害

炎症・変性の誘発

遺残による刺激・障害

塞栓

狭窄

閉塞・重責

狭窄・拡張・憩室の形成

重責

胃捻転・胃拡張症候群

胃腸通過時の損傷 幽門、十二指腸、膈、回盲部

幽門機能障害

<検査>

血液・生化学検査

血液凝固系検査

X線検査

超音波検査

バリウム造影検査

内視鏡検査

心電図検査

心血管・呼吸器系モニタリング

<処置>

催吐（過酸化水素水、 $\alpha 2$ 作動薬）；摂取後 30～60 分のみ有効

効果大

嘔吐の頻発・胃炎胃潰瘍の危険性

胃洗浄；摂取後 60～120 分のみ有効、ただし効果に疑問

全身麻酔の危険性

吸着剤の投与；一部物質のみに有効

処置が不可能な場合がある

禁忌物質がある

気道確保・換気・人工呼吸；特に吸入や誤嚥、中毒、気道閉塞など

静脈確保・静脈内点滴；循環障害、脱水症状、電解質異常など

有害物質の洗浄・中和

副腎皮質ホルモン；抗ショック、抗神経症状・痙攣、消炎

鎮静剤・抗痙攣薬・抗痙攣薬；過度の興奮、痙攣発作など

保温・冷却

制吐・抗潰瘍薬、胃粘膜保護薬、胃粘膜血流改善薬など

点眼・点鼻薬

外科手術；除去・切除・摘出手術、整復手術など